



令和3年度学校評価アンケート結果のまとめ

校長 佐伯 英徳

昨年の11月から12月に実施いたしました「令和3年度学校評価アンケート」の集計結果等を報告させていただきます。大変お忙しい中、短い期間でのアンケートにご協力いただきましてありがとうございます。しかしながら、今年度、紙ベースではなくQRコードを読み取り「Forms」からアンケートにお答えいただく形式を取りましたが、戸惑われた方も多かったようで、保護者の方の回収率が59%に留まってしまいました。課題を整理し次年度に向けて改善してまいりたいと考えております。集計結果の方は、生徒・保護者・教職員に対するすべての項目を掲載しましたのでご確認願います。以下にアンケート結果の特徴的な点を述べます。

【肯定的評価（「当てはまる」＋「やや当てはまる」）が80ポイント（以下P）を超えた項目】

生徒	保護者	教職員
27項目中24項目	28項目中25項目	34項目中32項目

【肯定的評価が80Pを下回った項目】

生徒	保護者	教職員
No.2「授業に関するアンケート」、No.8「家庭学習」	No.5「深い学び」、No.7「ICT機器の活用」、No.8「家庭学習」	No.7「ICT機器の活用・自分の考えや意見を分かりやすく伝えたりする授業」、No.8「家庭学習」

【昨年度との比較で3ポイント以上上昇した項目】※下欄：最も上昇した項目

生徒	保護者	教職員
12項目	10項目	6項目
No.13「上級生から学ぶ」 63.7P⇒86P：+22.3P	No.23「総合的な学習の時間」 55.3P⇒83P：+27.7P	No.13「上級生から学ぶ」 71P⇒100P：+29P

全体としては、三者を合わせた89項目中81項目で肯定的評価が80Pを超えており、保護者の皆様のご理解ご協力をいただいた上で、学校としての感染拡大防止策の徹底を図りながら子どもたちの健やかな活動を推進していた取組の成果としてとらえさせていただきたいと存じます。中でも、生徒の「学校行事」に対する評価の高さや「上級生から学ぶ」の評価が昨年度より+22.3P上昇している点については、学校行事に関する様々な取組を大切にしてきた四中の伝統を継承していきながら、よりよい学校行事を展開していく契機としてとらえております。

現在、アンケート結果の各項目の数値や学校関係者評価等をふまえ、今年度の教育活動の成果と課題を明確にした上で、改善策を練り、令和4年度の教育課程の編成に取り組んでいるところです。今後につきましては、「生徒一人一人が目を輝かせ、何事に対しても前向きに活動できる学校」を創造するために、コロナ禍の厳しい状況を冷静にとらえながら、生徒と教職員、保護者と教職員、そして教職員間における信頼関係をこれまで以上に構築し、本校の教育活動のより一層の充実を図ってまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

3年生激励会

1月14日（金）生徒会朝礼において3年生激励会をリモートで行いました。最初に生徒会長から、委員会や部活動などでお世話になった3年生に応援の言葉が送られました。次に生徒会役員で作成した激励模造紙「キット勝つ!!」の制作動画を見てもらい、最後に3年生から1・2年生に向けて、受験に向けての思いとお礼の言葉がありました。3年生は後輩からの熱い応援を受けて、希望する進路にむけてさらに努力し、それぞれの進路を切り開いていくことでしょう。



移動教室

1月16日（日）～18日（火）の2泊3日、2年生が長野県の戸狩スキー場に移動教室に行きました。移動教室を行うにあたり、感染症対策やマナーを守り、初めての宿泊行事に臨みました。移動教室初日は快晴で一面の銀世界。初めてスキーをやる生徒は、インストラクターの指導の下、滑りのコツを徐々につかんでいき、最終日にはスキーを楽しむことができるまで上達しました。東京では体験できない白銀の世界を存分に満喫しました。夜の宿舎での活動は、班ごとに～日本の「村おこし」～の調べ学習の発表と体験学習「箸づくり」を1日目と2日目に分けて行いました。これまで準備した学習の成果を発揮し、～日本の「村おこし」～の発表は趣向をこらしたものになりました。また竹を削る「箸づくり」は、上々の出来栄でした。生徒全員大自然と触れ合い、スキーを楽しみ、各々が責任をもって行動し、友人との絆を深めることができました。充実した移動教室になりました。



校内書初め展

1月末まで各学年教室前廊下に、書初めを展示しました。2学期末、授業中に書き上げたものです。様々な個性が書に現れていて、見ていて楽しくなりました。学年が上がるにしたがって、書がしっかりとしてくるのがよくわる展示でした。



※ 学校HP用の学校だよりには2月の予定が掲載されておりません。